Take Off

第 14 号

平成26年12月15日(月)

三郷市立北中学校 進路通信

冬(休み)を前に今やるべきこと

私立高等学校等の出願の準備、そして過去問を徹底的にやることです。

校内の定期テストを終えて、今皆さんは何をやるべきでしょうか。それは、私立高等学校の出願に向けての準備が一つあります。早ければ、12月下旬の出願になります。また多くの私立高等学校は、1月5日や、6日から出願が始まります。それには、出願に間に合うように書類をそろえなくてはなりません。高等学校から手に入れてありますか。そして、中学校に書いてもらう書類はありますか。あるのであれば、遅くとも1週間前には、担任の先生に申し出て、書いてもらう書類を渡さなければなりません。

さらにもうひとつは、自分の受験する高等学校等の過去問を12月中にやっておくことです。たとえば、埼玉県公立高等学校の入試問題は、問題の設定や問題数は毎年ほぼ同じで変わりません。そうした傾向を知っているのと知らないのでは大きく差が出るでしょう。必ず、問題集を買って始めてください。

過去問に取り組むときの注意

入試と同じ時間を設定して行う(50分、社・理40分)。これは時間配分の練習になるからです。大問4問なら、1問何分で取り組むか。その練習をしておかないと、1番をやった時間が足りなくなってしまう。悲劇です。

◎冬休みの前に過去問に取り組む意味

自分の課題が今どこにあるのか、どこが弱点なのか、どこで得点を伸ばそうとしているのか。それを知って、**冬休みに徹底的に練習、復習をするのです。**

過去問をやっていくと分かること

例えば、数学は、難易度の差が激しい。大問1番の中に小問12問があり、50点の配点。

社会は、基本用語を覚えていないとだめ。また、グラフや資料を読み取り説明ができないとだめ。記述問題が必ず、5~6問は出る。書けるようにする対策が必要。

理科は、実験や観察の資料文が長い。じっくり読みこなす時間がない。すばやく文章を読み取る力が要だ。 などと言うことがわかってきます

◎冬休みの注意

休みに入ると生活のリズムが乱れがちなので、普段と同じ時間帯で生活する。特に起床時間、就寝時間を規則正しくすることが大事です。(携帯電話の使いすぎ=失った時間です。取り返しのつかないことになりかねません。自己に厳しくです)

お知らせ再度

- ①埼玉県からの黄色い紙の冊子を配布(11月委配布済み)しましたが、「埼玉県高等学校等奨学金について」は中学校在学中にも申請できます。その際は北中学校に書類を提出となります。例年申し込みがありますので申し込む場合は、担任に申し出てください。詳しい書類をお渡しいたします。中学校3年生時に申し込む場合は、必要な書類をそろえ、12月中に申請となります。この奨学金は、原則、高等学校卒業後4年6か月経過後から、12年以内で返還しなければならないものです。その他の支援制度についても書いてありますので、もう一度よく見ていただきたいと思います。
- ②三郷市入学準備金貸付制度(9月にお知らせ済)の方も第2回申請期間(11/18~1/14)最終回申請期間(1/15~2/9)となっております。申請する場合は、担任に申し出てください。

◎埼玉県立総合教育センターのホームページで過去3年間の入試問題の解説をしています。

ホームページのメニュー→入試情報→(左側をみて)入試問題解説をクリックで出ます。